

ユニットのたより

「バレンタインデー」

二月二十四日のバレンタインデーにE・Fユニットでイベントを行いました。バレンタインデーにチョコレートをプレゼントするのは、日本独自の習慣であり、欧米では花束やメッセージカードをプレゼントするようです。

それはそれとして、この日はご利用者おひとりおひとりの健康を念じながら、チョコレートケーキやアイスクリームなどをお出しし、職員からの心を込めたバレンタインデーのおもてなしとさせて頂きました。また飲み物はコーヒーマスタード、紅茶を提し、普段とは変わったおやつを楽しんで頂きました。



利用者様の中には、甘いものやチョコレートが好きな方が多くいて、皆さんこぞって召し上がっておられました。中には自力で食べる事が困難な方も、この時は好物とあってきれいに食べていた大きな褒め言葉が送られてきました。

「ひな祭りレク」

三月三日のお節句をお祝いし、Dユニットでは桜餅づくりをご利用者と一緒にを行いました。桜餅と言え、関西は道明寺粉を使用し、関東はもち米を使うのが定番のようですが、今回は白玉粉と小麦粉をブレンドしたものを使用しました。特徴的なのは、桜餅の上に桜の塩漬けをのせたことです。職員が知人か



ら分けていた甘いもので、あんなこの甘さを和らげて非常にシンプルな甘さに仕上がりました。作業の工程で利用者様の積極的なお手伝いを頂き、職員も非常に助かりました。皆さん、とても器用な手さばきで、職員は圧倒されるばかりでした。見る見る二十個ほどの桜餅が完成しました。お茶が入り、出来立ての桜餅がそれぞれに配られ、一斉に食べ始めると一瞬静かになり、すぐにまたいつものおしゃべりで盛り上がりました。皆さん「見た目もきれいで、味も美味しかったね」と感想を話されておられました。

「穏やかな日々」

女性ご利用者の新井ヒサ様は、花の苑が開校後



間もなくCユニットに入所されたので丸三年が経過します。入所当時はコミュニケーションも良好で、職員が介助を行なった後には「わるいですねえ」「すみません」あるいは「優しいね」と職員の頭をなでたり、「腰気を付けて」などと労いの言葉を話されていきました。

おやつに甘いものをお出しすると「美味しいですねえ」「甘いもの好きです」と喜ばれていました。また達筆な新井様はご家族の名前を書いて職員に教えて下さった事もありました。写真の背景の書物は昔、新井様ご自身が書かれた作品です。最近に入所当初のように多くは話せなくなりましたが、先日「これはど



なたが書かれたものですか？」と尋ねたところ、右手を自身の顔に向けて「私です！」と意思表示されていました。娘様が持参された季節に見合った装飾品や花に囲まれながら、娘様と仲良く居室で日々過ごされておられます。



2月の行事で、たこ焼きパーティーを開催しました。生地を混ぜ、たこ焼き器に注ぎ込むと「ジューン」という音と共に香ばしいかおりがホールに広がりました。片側の生地がある程度固まってきたら、片串を使ってたこ焼きをひっくり返していきます。その作業を利用者様にも手伝って頂きました。たこ焼きをツンツン、クルクル・・・「意外と難しいねえ」「あ！うまくいった」などと皆さま、笑顔でたこ焼き作りに奮闘されていました。

「たこ焼き作り」

そして、I様に順番が回ってきた時にハブニングが、I様は竹串を手にすると、たこ焼きをひっくり返すのではなく、熱々のたこ焼きをそのまま口に放り込んだのです！「あちち！ハブハブ・・・うまい」「えー！大丈夫！？」ヤケドを心配する職員を上よそに、満足そうにI様、一同びっくりでしたが、みんな大笑いでした。

おやつを作る過程から利用者様に楽しんでいただき、出来立てのたこ焼きを皆さまに味わってもらえて良かったです。(Aユニット・ショートステイ S)

苑内トピックス

高崎花の苑では、年間事業目標を達成すべく、テーマごとの課題解決に向けて委員会を設置して取り組んでいます。具体的には、『ヒヤリハット(事故対策)委員会』『感染症対策委員会』『褥瘡委員会』『身体拘束禁止委員会』『サービス向上委員会』『広報委員会』の六部門です。

委員会には、日常的に発生する課題を持ち寄り、得られた解決策は現場の各ユニットにフィードバックする仕組みとなっています。ここでは、各委員会の現状について報告してもらいました。紙面の都合上、今回は褥瘡、サービス向上、感染症対策の三委員会のみ掲載します。

●褥瘡委員会(メンバー五名)
○委員会の目的と現在の取り組み状況について
★褥瘡は高齢者に常に付きまとう疾患であり、重症化すると重大な結果を



もたらせません。そのため発症を未然に防ぎ、また早期発見に努め、適切な対応をすることを目標に活動しています。

●活動内容は、定期的に委員会を行い、各ユニット利用者様の褥瘡発生状況の報告、処置内容の確認、今後のケアについて話し合っています。
★また外部から講師を招き、苑内研修を行っています。
○今後に向けての展望などについて
★委員会所属メンバーが知識と技術を身に付け、自分たちが苑内研修を行えるようになる事。また利用者様に合ったケアが行なえるよう適切なベッドタイプを選択したり、試行錯誤していったら良いと思います。

●サービス向上委員会

(メンバー五名)

○委員会の目的と現在の取り組み状況
★本委員会は、平成二十八年九月に発足し、苑内では新しい委員会となります。主な目的としては苑内の風紀を正し、しっかりとしたサービスを提供できることを目指し、ご利用者やご家族からクレームが発生した際には委員会内で検討し、再発防止に努めていきます。

★現在取り組んでいる具体的な事としては、月一度、委員会メンバーで各ユニットを巡回し、ご利用者の生活の様子や環境面を観察。また職員の対応の仕方を客観的な目線で見ていき、意見や修正点をあげ、改善に努めています。その結果、各ユニットでは前向きな取り組みが見られ、この半年で大きく前進が図られました。

★今後、他施設の見学を予定しており、ご利用者支援の様子や取組について良いところを吸収し、施設で活かしていけたらと考えております。

(メンバー六名)

○委員会の目的と現在の取り組み状況について
★文字通り、感染症対策委員会は、毎年猛威を振るインフルエンザやノロウイルスを中心とした感染症の拡大を防ぐことが目的です。活動の柱としては年二回の苑内研修を行っており、ここでは食中毒について厨房を委託している一富士二頂山サビサビさんに依頼し、嘔吐物処理の仕方など実践を交えて学びました。

★インフルエンザが地域周辺で蔓延している場合は、施設として面会禁止となり、各ユニットごとにご家族に連絡を取っています。

★現在取り組んでいるのは、夜間帯での嘔吐・下痢対応のマニュアル作成や職員が食中毒に感染

した時のマニュアル作成と嘔吐時現場で実践できるマニュアル作りについて話し合っています。また汚染したリネン類の処理方法やトイレ使用後の消毒方法などについても話し合い、適切かつ完璧な手法を学んでいます。

すこやか生活日記

カルシウムのお話。カルシウムは体に最も多く含まれるミネラルです。その約九パーセントが骨や歯に存在しています。不足すると骨に蓄えていたカルシウムを放出してしまおうため、結果、骨量の減少へとつながってしまいます。

カルシウムと言えば乳製品ですが、小松菜や水菜、大根の葉などの野菜や小魚にも豊富に含まれています。骨を強くするには適度な運動や日光に当たることも大切です。(管理栄養士)

★慌ただしい時期に突入します。こんな時こそ！私らしくマイペースで行く予定です。(T)★久しぶりにサッカー観戦に行きモチベーション注入してきました。またの観戦を楽しみに日々励んでいきます。(S)★ミニバスの審判歴三年。シューズを新調。子供たちとコートを走り、汗をかいたのはこの上ない楽しみです。(S)★趣味の漫画のまとめ買いで財布がピンチです。新しい本棚が欲しいですがそれも適いません。ああ。(K)★二月に入ってから目が痒くなりました。花粉症歴三十余年。本格的な花粉シーズン到来です。(M)★創刊号から振り返ると、少しずつ改良され写真で皆様の良い表情をお伝えできるようになったのではと思います。(S)★三号館の船出と共に、小紙も三十号を迎えました。数字の三は縁起が良く、安定を意味するとか。更なる発展を期したい。(N)

編集後記